

企業で冬のボーナス支給が始まった。厳しい雇用や賃金環境が続き、消費をなるべく抑えて運用を計画している人もいるはず。円高に株安と金融市場の先行きが不透明ななかで、どんな運用をすればいいのか。専門家の意見を交えながら、お薦めの運用方法についてまとめた。

東京都品川区の男性(28)は昨年結婚したのを機に、今春から資産運用を始めた。毎月の給与の中から一定額を積み立てて回し、夏のボーナスは証券系銀行の定期預金に預けた。5年定期で金利は年0.4%と、メガバンクの10倍程度。「リスクが小さいから初心者には安心」と話す。

## 販売手数料に注目

資産運用の基本は「分散投資」。手元資金を確保するのはもちろん、種類の異なる金融商品に資産を振り分けて、リスクを低くするのが鉄則だ。ボーナスシーズンは資産運用の初心者にとって、バランスの良いマネーの運用を始める機会でもある。では、どんな運用方法があるのだろうか。

「ノーロード(販売手数料無料)でコストを抑えるのが得」と話すのは、びとつファイナンシャルサービスの尾藤峰男社長。三菱UFJ投信の「eMAXIS」シリーズや、住信アセットマネジメントの「STAM」シリーズを使って、毎月定額引き落としの積み立て運用を薦める。これらはボーナス月には積立額を増

# ボーナスで始める運用

## 資産運用初心者向けの主な金融商品

商品名	特徴
eMAXIS (イーマクシス)	先進国、新興国含む世界の主要なベンチマークをカバーしたインデックスファンド。販売手数料無料
個人向け国債 (10年変動)	安全資産でかつ、流動性が高い
ダイワMMF	公社債や短期金融資産で運用。元本割れがない
バンガード・トータル・ワールド・ストックETF	世界の上場株式の約2900銘柄を組み入れた投信。分散投資に適している
DLIBJ公社債オープン	格付けがBBBマイナス以上の国内公社債を中心に投資。1%程度のリターンが見込める
野村資産設計ファンド	ライフサイクルに合わせてポートフォリオを機動的に変えられる

額で済ませるため、計画的に、余裕を持って運用できるのが強みだ。楽天証券やマネックス証券などのインターネット証券で購入できる。

個人向け国債の10年変動を挙げると、ファイナンシャルプランナーの紀平正幸さん。足元の金利を基準にする

と、10年変動の初回金利は0.6%台。「流動性が高く、安全。2年たてばネット銀行の定期預金並みの利率が確保できる」。公社債などで運用する、大和証券投資信託委託の「ダイワMMF(マネー・マネージメント・ファンド)」も「元本割れがない」点で初心者にお薦めだという。

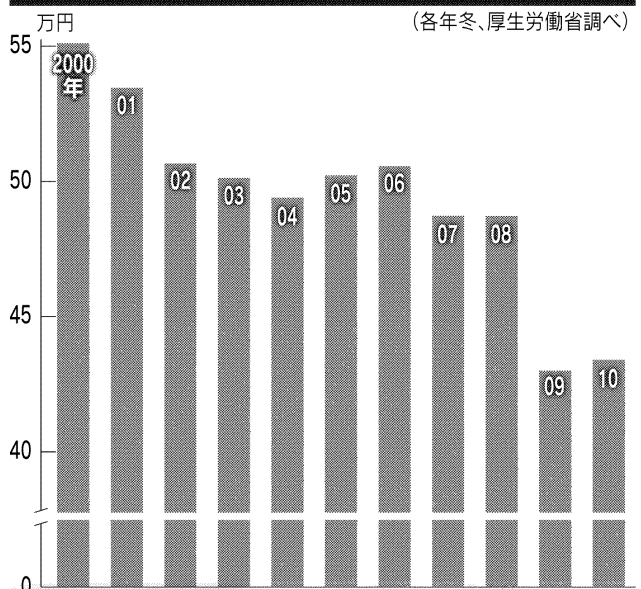
すでに資産運用を始めている人は、より多くのリターンを得るために株式の投資信託を購入するのも一案。米運用会社バンガードの「バンガード・トータル・ワールド・ス

トックETF」は先進国や新興国の上場株式の約2900銘柄を組み入れた投資信託で、信託報酬率が0.25%と割安。「これ以上できないほど株式が分散投資されており、初心者でも内容をよく理解すれば適切だ(尾藤さん)という。SBI証券などのネット証券で購入できる。

DIAMアセットマネジメントの「DLIBJ公社債オープン(中期コース)」は格付けがBBBマイナス以上の国内の公社債を中心に投資する。安全資産の国内債券への投資が中心で、相場の下落リスクに強い。国債以外に複数の社債への投資を検討している人に向いている商品といえる。米資産運用大手ピムコの「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)」も高格付け債券に投資し、リスクを抑えながら

## 分散投資が鉄則、わかりやすさ大切

### ボーナスが減るなか、有利な運用に関心が集まっている



専門家のアドバイスを聞いて、一度決めた方針は続けることが大切

## 人生設計に合わせ

高収益を狙う商品だ。資産運用を始める点で注意すべきことは何か。紀平さんは「3年以内を使う予定の資金は投資しない」「事前に3カ月程度、シミュレーション投資をしてから購入する」とを挙げた。レバレッジ(ていときは株式中心の積極投資、FX)を取引や株式の信用取引は「初心者には知識が必要で、避けた方が無難」とする。

資産運用を始める点で注意すべきことは何か。紀平さんは「3年以内を使う予定の資金は投資しない」「事前に3カ月程度、シミュレーション投資をしてから購入する」とを挙げた。レバレッジ(ていときは株式中心の積極投資、FX)を取引や株式の信用取引は「初心者には知識が必要で、避けた方が無難」とする。

バイスを聞いて、一度決めた方針は続けること」と説く。日々の評価損益を追って、運用を途中で変えたり、積立額を減らしたりすると長続きしないという。運用成績をグラフ化すると継続する楽しみができる。自分の許容範囲内で投資する、自分が理解できない金融商品には投資しない。これも常に頭の片隅に入れておこう。

(鈴木大祐)

## 知識

ボーナスの語源は、ローマ神話に出てくる成功や収穫の神「Bonus Eventus(ボヌス・エベントス)」というのが定説。日本では江戸時代から、奉公人が盆や年末に小遣いをもらったり着物や新調してもらったりする習慣があったという。会社組織として初めてボーナスを出したのは岩崎弥太郎が設立した三菱商会とい

## 減少続くボーナス 運用の重要性増す

われている。厚生労働省の毎月勤労統計調査によると、2010年の冬のボーナスの平均額(従業員30人以上)は43万4004円。10年間で2割以上減った。今年は円高や株安などが影響して多くの企業で業績が振るわず、大きな増額は見込みにくい。将来に備えるためにも、資産運用の重要性が増そうだ。